



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人 勉仁会中垣病院	階数	地上3階、地下1階
建設地	札幌市手稲区金山1条2丁目14-1の内、他	構造	RC造
建物用途	病院	平均居住人員	150人
竣工年	2024年5月 竣工	年間使用時間	5,760 時間/年(想定値)
敷地面積	11,360 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	1,410 m ²	評価の実施日	2023年10月25日
延床面積	3,743 m ²	作成者	森田
		確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆ **A**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.74**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>メイン道路に面した外壁にレンガ調のタイルを貼り、温かみのあるデザインとしています。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>外壁の窓ガラスはLow-E複層ガラス、高断熱サッシを採用。断熱は硬質ウレタンフォームA1H種を採用し外皮熱負荷を抑制。衛生器具は節水型器具を採用。照明器具にはLED人感センサーを採用し消費電力の低減を図っています。</p>	<p>B 省資源等</p> <p>各病棟ごとに廃棄物保管スペースを確保しています。また敷地内には全病棟から集まるゴミ集積庫があり、廃棄物と再利用対象物を分け、資源再利用の促進に努めます。</p>
<p>C 緑化</p> <p>緑保全創出地域制度の許可基準を遵守するとともに、道路側や歩行者に目に入る1階建物廻りには季節感させる樹種を植栽する予定です。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>敷地内に雪堆積スペースを確保しています。</p>	

4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体				
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数							
Q 建築物の環境品質												3.0				
Q1 室内環境												3.2				
1 音環境												3.0				
1.1 室内騒音レベル												3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音												3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能												3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能												3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													-	3.0	0.20	
1.3 吸音												3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境												2.6	0.35	3.0	1.00	2.6
2.1 室温制御												3.0	0.50	3.8	0.50	
1 室温												3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能												3.0	0.25	5.0	0.43	
3 ゾーン別制御性												3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御												1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式												3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境												3.1	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 屋光利用												3.6	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率												4.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口													-		-	
3 屋光利用設備												3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策												3.0	0.30	3.0	0.30	
1 屋光制御												3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度												3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御												3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境												4.4	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策												5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質												5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気												3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量												3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能													-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮												3.0	0.50	3.0	0.33	

4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1	CO ₂ の監視		-		-		-	
2	喫煙の制御		病院敷地内は禁煙	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能					0.30	-	-	3.2
1 機能性				3.4	0.40	3.4	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性		-		-	3.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応		-		-		-	
3	バリアフリー計画		-	3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	4.0	0.40	
1	広さ感・景観		病室の天井高さ 2.5m		-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース		-		-		-	
3	内装計画		内観パースを作成し、デザインの検討を行う。また、床材に天然素材のリノリウムを採用。	4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		-	3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		各階に洗い場、廃棄物庫(おむつ庫)を配置	4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-	3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		-	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	-	2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.0	0.20		-	
1	空調・換気設備		-	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		-	3.0	0.20		-	
3	電気設備		-	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		-	3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		-	3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.2	0.30	3.2	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				3.4	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり		-	3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率=0.25	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	

3.3 設備の更新性				3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		-	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		構造部材を痛めることなく修繕、更新できる。	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	2.5
1	生物環境の保全と創出	緑化	-	2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-	2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-	3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性								3.6
LR1 エネルギー				-	0.40		-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.73	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用	省エネ	2方向に設けた開閉窓により自然通風を促す	4.0	0.10		-	4.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.74	4.2	0.50		-	4.2
4	効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	-	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング	省エネ	-					
4.2	運用管理体制	省エネ	-					
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.5
1	水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水		節水コマなどに加えて、省水型機器(擬音、節水型便器など)などを用いている。	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		-	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60		-	3.4
2.1	材料使用量の削減	省資源	-	2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	リサイクル資材を3品目以上用いている。	5.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	-	2.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	内装材と設備が錯綜せず、解体・更新の際に容易にそれぞれを取り外すことが出来る	4.0	0.20		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.20		-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			塗料や仕上げ材に有害物質を含まない材料を使用	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源	-	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	ODP=0かつGWP=1以下の発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	5.0	0.50		-	
3	冷媒	省資源	-	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮		省資源	-	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止		省資源	-	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	-	2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		敷地内に十分な駐車スペースを確保	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音		-	3.0	1.00		-	
2	振動		-	-	-		-	
3	悪臭		-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-		-		-	
3	日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要

建物名称	医療法人勉仁会中垣病院	BEE	1.5	BEEランク	A
建物用途	病院				
延床面積	3,742.6 m ²				

2 重点項目への取り組み

レーダーチャート



3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 25.3 最低点 7.2)		合計		20.0点 / 25.3点	
Q1 温熱環境	スコア 1.4 / 1.8	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0 / 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 2.2 / 3.5	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.6 / 2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.4 / 10.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.4 / 4.0		
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)		合計		15.7点 / 23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.6 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.1 / 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.4 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.7 / 1.9		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.8 / 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.1 / 4.4		
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		7.8点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.8 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 3.6 / 6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.4 / 2.3				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		1.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数